

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | 活動後には子どもたちの様子や気づきを共有しながら、次の支援につながるよう振り返りを行っている | 送迎時間や業務状況によって十分な振り返り時間が確保しにくい日もあるため、共有方法を引き続き工夫していきたい |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | 日々の関わりや子どもたちの様子を記録に残しながら、小さな変化にも気づけるようにしている | 記録内容に個人差が出ないよう、必要な視点や伝え方について継続して確認していきたい |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | 子どもたちの成長や生活の変化を確認しながら、ご家族とも話し合いを重ねて支援内容を見直している | 日々の変化をより丁寧に支援へ反映できるよう、継続して見直しの視点を深めていきたい |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。 | 6 | | 遊びや日常の関わりを通して、子どもたちが楽しみながら様々な経験につながるよう活動を組み合わせている | 活動が偏らないよう、子どもたちの様子や発達段階に合わせた工夫を続けていきたい |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | | 子ども自身が「やってみたい」「選びたい」と感じられる場面を大切にしながら、気持ちを伝えられる関わりを心がけている | 職員側の声かけが先行しすぎないよう、一人ひとりのペースを大切にしながら関わりを意識していきたい |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | 関係機関との話し合いにも丁寧に参加しながら、子どもたちが安心して過ごせるよう情報共有を行っている | 支援内容や役割分担について、より分かりやすく共有できるよう連携を深めていきたい |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | 子どもたちの生活全体を大切にしながら、関係機関ともつながりを持って支援につなげている | 必要な場面でもよりスムーズに連携できるよう、日頃からの関係づくりを大切にしていきたい |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | | 学校での様子や送迎時の情報共有を大切にしながら、安心して利用できるよう連携を行っている | 急な予定変更や連絡事項について、より確実に共有できる方法を引き続き工夫していきたい |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | | これまでの育ちや関わりを大切にしながら、必要に応じて関係機関と情報共有を行っている | 移行時期に不安なくつながれるよう、必要な情報共有をより丁寧にしていきたい |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | | 卒業後も安心して新しい環境につながれるよう、ご本人やご家族の思いを大切にしながら必要な情報共有を行っている | 将来を見据えた支援について、早い段階から関係機関とも相談しながら準備を進めていきたい |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | | 必要に応じて関係機関へ相談しながら、子どもたちにとってより良い支援につながるよう学びを深めている | 専門機関から学ぶ機会はまだまだ十分とは言えないため、今後はより連携や学びの機会を広げていきたい |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | | 地域での活動や外出の機会も取り入れながら、子どもたちが様々な人や場所に触れられるようにしている | 地域交流の機会は限られているため、無理のない範囲で活動の幅を広げていきたい |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | | 地域の関係機関とのつながりを大切にしながら、必要に応じて情報共有や連携を行っている | 継続して地域とのつながりを深めていきたい |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | 日々の様子や小さな変化も共有しながら、保護者と一緒に子どもたちの成長を見守れるよう心がけている | 限られた時間の中でも、より丁寧に思いを共有できる関係づくりを続けていきたい |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 3 | ご家庭からの相談を受けながら、安心して子育てについて話せる関係づくりを大切にしている | 家族向けの学びや交流の機会については、今後さらに充実できるよう検討していきたい |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | 安心して利用していただけるよう、制度や支援内容について分かりやすく丁寧にお伝えしている | 制度内容が分かりにくくならないよう、よりわかりやすい説明方法を工夫していきたい |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | 子ども本人やご家族の思いを大切にしながら、日々の会話や面談を通して気持ちを確認している | 子ども本人の思いをより丁寧に受け止められるよう、関わり方を引き続き工夫していきたい |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | | 支援内容やねらいについて丁寧に説明しながら、ご家族と一緒に確認を行っている | 専門的な言葉が分かりにくくならないよう、よりわかりやすい説明を心がけていきたい |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | ご家庭での悩みや困りごとについても話しやすい関係を大切にしながら、一緒に考えていけるよう心がけている | 保護者によって相談しやすさに差が出ないよう、安心して話せる関係づくりを続けていきたい |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 5 | 日々のやり取りや行事等を通して、保護者同士や職員とのつながりが持てるようにしていきたい | 保護者同士が自然につながれる機会については、今後さらに工夫していきたい |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | 保護者からのご意見や気づきを大切に受け止めながら、必要な対応を速やかに行えるようにしている | 相談内容によっては対応や共有に時間を要することもあるため、安心して相談できる体制づくりを継続していきたい |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | 活動の様子やお知らせが伝わるよう、ホームページ等を通して情報発信を行っている | 保護者によって必要とする情報に違いもあるため、より分かりやすく伝わる発信方法を工夫していきたい |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | 個人情報の管理には十分配慮しながら、職員間でも取り扱いについて確認を行っている | 情報共有の機会が増える中でも、引き続き適切な管理や確認を徹底していきたい |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | 子どもや保護者それぞれに合わせた伝え方を意識しながら、安心してやり取りできる関係づくりを大切にしている | 伝わりやすさには個人差もあるため、一人ひとりに合わせた関わり方を引き続き工夫していきたい |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|--|
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | | 地域とのつながりも大切にしながら、子どもたちが安心して過ごせる場所づくりを心がけている | 地域との交流機会についてはまだ十分とは言えないため、無理のない範囲で広げていきたい |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | 安全に過ごせる環境を大切にしながら、緊急時の対応についても職員間で確認や共有を行っている | 実際の場面を想定した動きについては、継続して確認や訓練を重ねていきたい |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | 災害時や緊急時にも子どもたちが安心して過ごせるよう、避難訓練や対応確認を行っている | 状況に応じた対応力を高められるよう、継続して訓練内容を見直していきたい |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | | 安心して利用できるよう、ご家庭とも確認を行いながら子どもたちの健康面の把握に努めている | 体調や服薬状況の変化について、より確実に共有できるよう確認体制を整えていきたい |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | | アレルギー等の健康面について事前確認を行いながら、安全に過ごせるよう職員間でも共有している | 子どもたちの安全を守るため、確認漏れがないよう継続して意識を高めていきたい |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | 子どもたちが安心して活動できるよう、安全面に配慮しながら日々の支援を行っている | 活動内容や利用状況に応じて、安全面の確認や見直しを継続して行っていきたい |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | | ご家庭とも情報共有を行いながら、安心して利用できるよう安全面についても確認を行っている | 安全に関する取り組みについて、より分かりやすく伝えられるよう周知方法を工夫していきたい |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | 小さな気づきも職員間で共有しながら、安心して過ごせる環境づくりにつなげている | 気づきを共有するだけで終わらず、再発防止につながる振り返りを継続して行ってきたい |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | 子どもたち一人ひとりの気持ちを大切にしながら、安心して過ごせる関わりについて学び合っている | 忙しい場面でも丁寧な関わりを続けられるよう、職員同士で声を掛け合いながら意識を高めていきたい |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | | 安全面を最優先に考えながら、必要な場合にはご家族へ丁寧に説明し、職員間でも十分に共有している | 子どもたちが安心して過ごせるよう、身体拘束に頼らない支援や環境づくりについて引き続き検討していきたい |